患者さんへ

研究課題名:「手術における血漿分画−組織接着製剤のコスト漏れ要因と手術室薬剤師配置の費用対効果に関する調査」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2023 年 4 月1日～2024 年 3 月 31 日までに当院手術室で手術を受けた方
2 研究目的・方法	手術におけるコスト管理は病院経営における課題の一つとなっています。本院では血漿分画−組織接着製剤(組織同士を接着させる糊・止血剤)の請求漏れが発生しているため、その要因を、診療録や手術室薬剤師業務記録表などを探索的に調査して明らかにするとともに、請求漏れ対策で生じた経済効果も含めて、手術室薬剤師配置の費用対効果に関する考察を行います。 研究の期間:施設院長許可(2025 年 4 月予定)後　～　2026 年 3 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	① 手術関連情報(手術日、手術入退室/開始・終了時刻および手術時間、使用した血漿分画—組織接着剤名および規格、数量、使用した血漿分画—組織接着剤のコスト実施・漏れ状況、手術病名、術式、全身麻酔管理の有無など) ② 手術室薬剤師−費用対効果関連情報(「周術期薬剤管理加算(※手術の前後に薬剤師が薬学的に関与した際の費用)の実施件数、手術室薬剤師の血漿分画—組織接着剤のコスト回収金額、人事院　薬剤師平均給与など)
5 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 研究責任者:　齋藤　靖弘、札幌東徳洲会病院・薬剤部、係長 住所:札幌市東区北 33 条東 14 丁目 3 番1号 連絡先:011−722−1110(代表)

2025 年 6 月 3 日作成(第 3 版)